

くにさき少年少
女 発 明 ク ラ ブ
事務局発行

発明クラブ通信



まっすぐ進んだ？

第7回クラブ講座

かいてん 「回転車をまっすぐに走らせてみよう」

11月2日(土)に、7回目のクラブ講座が開かれました。今回は紙コップで簡単にできる「回転車」づくりにチャレンジしました。

今回の回転車は、ゴムの力を利用してまっすぐ進む車づくりの完成をめざしました。つくり方は簡単ですが、コップの中心に穴をあけたりその穴にゴムを通したりするのが、少し大変かもしれません。

<つくり方>

①紙コップ1個の半分より少し上に線を引く。②線にそって、紙コップを半分に切りとる。③割り(↑半分に切れるかな?)



ばしの先端(細い部分)を、4cm程切りとる。

③紙コップの下半分の底の真ん中に、5mmほどのあなをあける。

④もう一つの紙コップの底にも、5mmほど

(↑ビーズが入るかな?) のあなをあける。⑤ビーズを通した輪ゴムの中に、長い割りばしを

とおして、紙コップの穴の中にゴムを入れる(ピンを輪ゴムに通しておく)。⑥もう一つの紙コップ(半分に切ったコップ)の穴に、輪ゴムを



(↑もうすぐ完成です。)

つけたピンを通し、輪ゴムの先端に短く切った割りばしをはさんで止める。⑥上半分は内側にボンドをつけ、下半分は外側にボンドをつけて固定すれば完成! (完成した回転車↓)



↑さっそくみんなで動かしてみました。中には10メートル以上走った車もありました。

<どうすればまっすぐ走るのだろう?>

車は動くけれど、まがって走ることがあります。まがらずにまっすぐ走る方法をみんなで考えてみました。

■まっすぐは走らない車は、紙コップが曲がっていないか調べて見てください。紙コップがタイヤの働きをしているからです。

■もう一つ考えられるのは、ゴムをまく割りばしの長さを調べて見てください。割りばしは、ゴムをまく働きをしていますので、割りばしの動きによって、走り方がかわってきます。



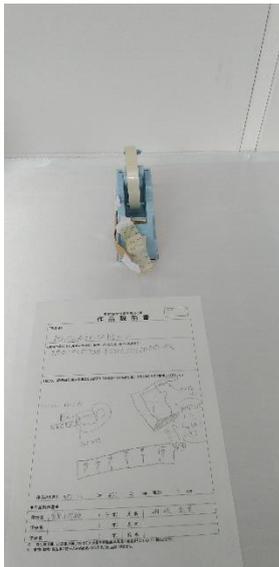
クラブ員の声を紹介(しょうかい)

(左から) 田吹さん~これまでで、空飛ぶ鯉のぼりや扇風機づくりが楽しかったです。小川さん~いろんな物を作った中で、回路を使ったのが勉強になりました。佐野さん~工作が好きで入りました。将来はそれをいかせる仕事につきたい。瀬田さん~4年生の時からクラブに入り、物づくりがもっと好きになりました。

大分県発明くふう展

出品作品の紹介

前回に続いて9月17～21日の間に開催された大分県発明くふう展に、当クラブから出品された作品を順番に4作品を紹介いたします。出品した発明作品は、どれも楽しいアイデアにあふれた作品ばかりで、2月に予定しています生涯学習フェスタで、作品展示を計画しています。今後作品を完成させようと思っている方は、ぜひ1月末までにクラブ事務局にもってきてください。



田吹 礼美さん

国東小 4年

「おんなじ長さに
切れるテープ」

～ポスターなどをはる時に、テープを同じ長さに切ることができてとても便利です。

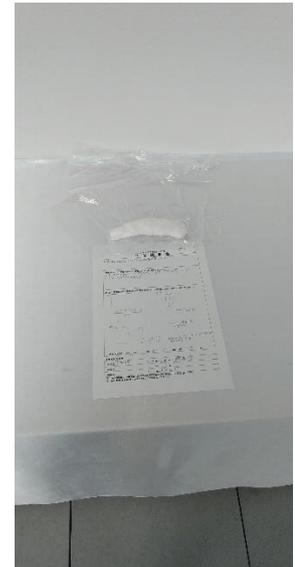


合田 ひかりさん

安岐小 4年

「きがえかんたん
べんりふく」

～入院した時にきがえが大変だったので、すぐにきがえられるようにしました。

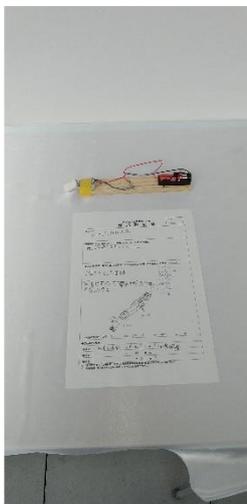


國廣 旭さん

安岐小 4年

「かんたんにバナナ
アイスを作れるふくろ」

～バナナアイスを作ると時、ラップをまかずに簡単に作れます。



川嶋 郁澄さん

国東小 4年

「回って消しやすい
けしゴム」

～字を消すのが電動になって楽になる発明品です。けしゴムの大きさに^{くろろ}苦労しました。

(2月講座のおしらせ)

■開催日～2月8日(土) 13:30～

■場所 ～ アグリホール

※時間が午後になっています。

■内容 「すもうロボットづくり」

■持ち物 ～・筆記用具・はさみものさし・活動ノート・参加費 300円

※^{しょうがい}生涯学習フェスタを開催しています。

す。発明くふう作品も展示します。